

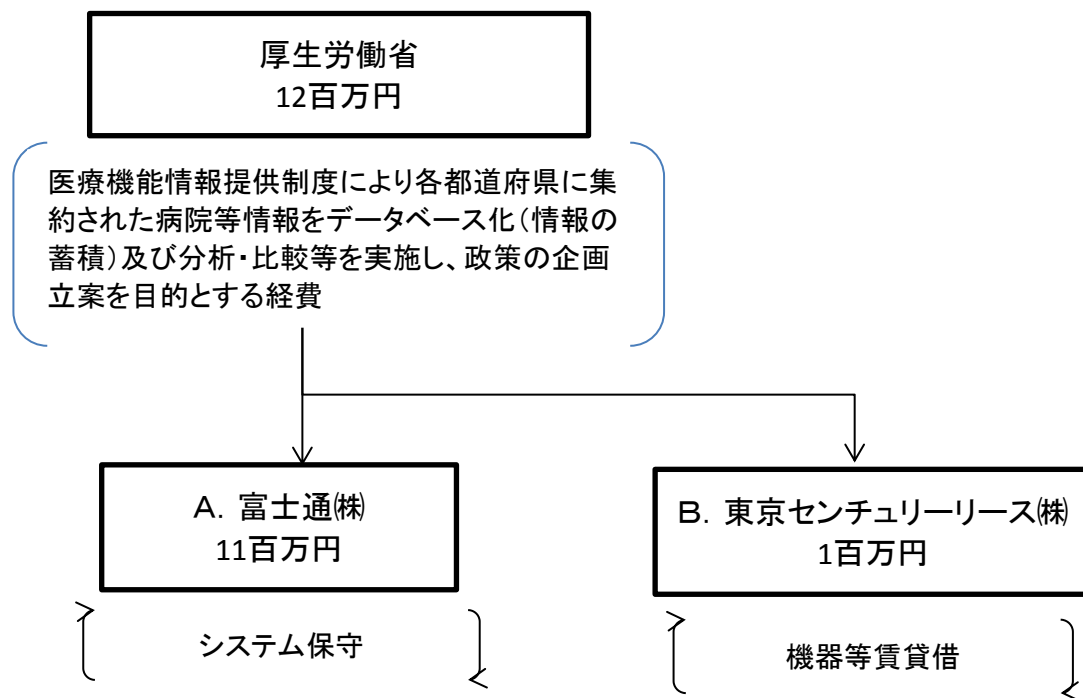
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	医療機能情報集約システム経費		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度～		担当課室	総務課、指導課 救急・周産期医療等対策室		課長:土生 英二		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-1-1 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	医療機能情報集約システムに係る医療機能情報の提供について(平成21年3月10日付け事務連絡)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国において、人口の少子・高齢化などの医療ニーズの多様化・高度化や医師の偏在等の重要課題に対応する必要があることから、医療機能情報提供制度により各都道府県に集約された病院等情報をデータベース化(情報の蓄積)及び分析・比較等を実施し、政策の企画立案を目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	病院等から各都道府県に提出された医療機能情報について、各都道府県から厚生労働省に電子媒体で提出させ、当該情報を集約し、データベース化する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算の状況	当初予算	12	12	12			
		補正予算						
		繰越し等						
		計	12	12	12			
		執行額	12	12	12			
	執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	病院等情報データ項目数	成果実績	項目		10項目	15項目	15項目	20項目
		達成度	%		50%	75%	75%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	病院等情報データ項目数	活動実績 (当初見込み)	項目		5項目	5項目 (5項目)	5項目 (5項目)	- (-)
単位当たりコスト	2.4(百万円/項目)		算出根拠	12百万円÷5				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	-	-	-	-				
	計	-	-					

事業所管部局による点検					
	項目			評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			-	-
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	各都道府県に集約された病院等情報を国がデータベース化するものであり、国の施策の立案に資するものである。
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			-	-
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			-	-
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-	-
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○	単位あたりのコストは横ばいで推移しており妥当である
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			-	-
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			○	システムの維持管理に必要な費用に限定している。
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	病院等情報データ項目数は年々増えている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	集約されたデータを元に東日本大震災での被災地の病院等の把握にも活用した。
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-	-
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
	-	-	-		
	-	-	-		
点検結果	国に集約されたデータについて、東日本大震災での被災地の病院等の把握にも活用できたが事業としては廃止した。				
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
-	-				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
-	-				
備考					
○提言型政策仕分け 平成23年11月22日 事業番号: B5-2 社会保障: 医療サービスの機能強化と効率化・重点化 提言(とりまとめ): 国民・地域のニーズを具体的に把握して、診療報酬の改定を行うべき。その中で、勤務医と開業医、また診療科間について、リスクや勤務時間に応じて報酬配分を大胆に見直す。また、医師不足改善のため、勤務医と開業医とのアンバランスや地域別・診療科別の医師不足の状況を踏まえて、メリハリの利いた診療報酬改定を早急に行うべき。また、中長期的には、開業医と勤務医の収入をバランスさせることを目指し、開業医・勤務医の平準化を進める。また、医療サービスの価格全体の前提となる診療報酬本体(医師の人件費等)については、「据え置く」6名、「抑制」3名という意見があったことを重く受け止めて対応されたい。加えて、中長期的な検討課題として提案された地域・診療科間の偏在の解消など、医師不足の問題に対応する医療供給体制の在り方について、社会保障審議会で検討の上、行政刷新会議に報告されたい。また、診療報酬の加算が効果的に待遇改善につながるよう、勤務条件が厳しい診療科を中心に待遇改善につながる条件付けを行うべき。					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	39	平成23年	0034	平成24年	035

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.富士通(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
保守費用	システム保守	11			
計		11	計		0
B.東京センチュリーリース(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
機器等賃借料	パソコン、プリンタ等賃貸借	1			
計		1	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士通(株)	システム保守	11	国庫債務	

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京センチュリーリース(株)	パソコン、プリンタ等賃貸借	1	国庫債務	